

# 革命を唱える過激派集団に献金した 菅民主党には政権担当の資格なし！

## 古屋圭司

自民党衆議院議員・元経済産業副大臣



〔古屋圭司氏のプロフィール〕 昭和27年、岐阜県恵那市出身。成蹊大学経済学部卒業。大正海上火災保険（現三井住友海上火災保険）勤務を経て、安倍晋太郎衆議院議員秘書、養父・古屋亨衆議院議員秘書。平成2年、自民党から衆議院議員初当選、以来当選7回。この間、小泉内閣で経済産業副大臣を務めた。平成21年、自民党中央政治大学院学院長。「創生『日本』」会長代理、超党派の「憲法96条改正を目指す議員連盟」自民党代表、政策集団「のぞみ」などで活躍中。

本質が見極められないまま  
誕生した民主党政権

——古屋さんは先日、自民党の「菅首相拉致関係献金疑惑追及プロジェクトチーム」の座長として、衆議院予算委員会で菅総理を厳しく追及されました。拉致関係者が関わる政治団体に、菅総理ら民主党議員から巨額の献金が行われていたことは、拉致被害者関係の人たちだけでなく、国民にも大きな衝撃を与えました。

古屋 私は、民主党政権ができて以来、特に菅政権ができて以来、この政権は、従来きわめて反政府的色彩が強く、自民政権に何でも反対してきた、日教組など労働組合に深くコントロールされている政権だ、と感じてきました。なぜそういう政権が誕生したかと言えば、自民党が長年政権を担当しているうちに、国民政党であることを忘れてしまい、国民の期待に応えられなくなったからです。民主党はまだ本気で政権を取る意志はなかったのに、「政権交代」というキャッチフレーズ